

2020年度横浜YMCA活動方針・計画

2020年度基本聖句

励まし合いなさい。思いを一つにしてください。平和を保ちなさい。(コリントⅡ 13:11)

2020年度活動方針と重点活動計画

- (1) すべての世代の方々が身体的、精神的、社会的な健康を、現在と将来にわたって維持・増進する生活を提案し、機会を提供します。
 - ①乳児から高齢者の各年齢やニーズにあった魅力あるプログラムを提供します。
 - ②幼少期から青年期にかけての身体づくりと高齢者の健康づくりに取り組みます。
 - ③子育て、子育てに関わる人に寄り添う取り組みを実施します。

- (2) 違いを認め共に生きる社会の実現のために、世代間交流、グローバルな交流機会や多文化共生の体験機会を提供します。
 - ①国際理解、地球市民教育を意図した語学教育を実施します。
 - ②国際交流・協力プログラムを実施しグローバル人材を育成し、留学生、外国人住民、インターンを受け入れ交流活動を行います。
 - ③活動への参加者だけでなく、ボランティアや働く仲間など多様な人材を積極的に受け入れていきます。

- (3) 次世代の担い手を育み社会へ輩出するために、若者へ学びの機会と就労支援の機会を提供し、社会参画を支援します。
 - ①主に若い世代への就労支援とキャリア教育として、社会的に必要とされる特定分野における専門職教育を行います。
 - ②特別に支援が必要な青少年（発達障がい、生活困窮世帯、外国につながる等）に向けた教育支援を行います。
 - ③中高生がすべての事業にボランティア参画することや最先端の知識や技術に触れる機会を提供します。

- (4) 子どもから高齢者まで安心安全な環境と、豊かな生活の時を提供し、福祉社会の望ましい姿を社会に提案していきます。
 - ①次世代を担う子どもたちのためのチャイルドケアを実施します。
 - ②高齢者が自分らしくいることができ、生きがいを見つけられる活動を実施し、施設を運営します。
 - ③誰もが受け入れられる安心安全な場所として、会館・施設の環境整備を行います。

(5) 社会の課題に事業を通してより一層取り組むために、地域及び社会の、諸団体及び専門性のある人材と積極的に協働を進めていきます。

①会員組織としてボランティアと職員の協働推進のための維持会員、賛助会の増強に取り組めます。

②ワイズメンズクラブやキリスト教関連並びに地域の諸団体、企業などと協働・連携した青少年活動、地域支援活動、災害支援や、復興支援活動を創出します。

③更なる社会貢献のために、教育機関や専門家との協働を推進します。

(6) 横浜 YMCA150 周年（2034 年）を見据え、社会に働き、市民と協働する横浜 YMCA の将来像の作成に着手します。

①横浜 YMCA150 周年を見据え持続可能な開発目標を作成します。

②各運営委員会・事業委員会において、150 周年への将来計画を協議します。

③社会情勢を研究し来るべき未来における各事業の将来計画を作成します。